

平成31年 新成人 誓いの言葉

本日は私たち新成人のために盛大な式典を催してくださり、誠にありがとうございます。また、谷ヶ崎市長をはじめとしたご臨席の皆様、この日のために準備に携わってくださった皆様、そして本日の運営にご尽力くださった皆様に深く御礼申し上げます。

こうして私たちが成人式を迎えられるのは、これまで常に支え励まし続けてくれた家族をはじめ、共に助け合ってきた友達、たくさんの指導をしてくださった小学校、中学校の先生方、いつも温かく見守ってくださった地域の皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。

さて、私たちは20歳を迎え、既に社会の一線で働いている人や、学校で学業に励んでいる人など立場は様々ですが、一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、社会の一員として邁進しております。

私自身、高校、大学へと進学しました。現在は食料問題や地域活性化に関する政策などについて学んでおります。例えばある地方では雇用が少ないために若者の都市への流失がとめどなく、自分の生まれ育った場所に誇りを持つことができなくなってしまう‘誇りの空洞化’が発生しております。どうしたら解決できるか、まずは原因を探し、周辺状況を理解しなくてはなりません。誇りの空洞化は人の空洞化、つまりは過疎化につながり、過疎化は土地利用の空洞化、ひいては限界集落を生み出してしまう可能性があります。多くの問題の原因は複数あり、複雑に絡み合っているため、ある対策を講じる際は副作用を考えなければなりません。このように物事を多角的に捉え、広い意味での政策を考えるという訓練は、将来、世の中に貢献するときに自分の強みになると信じて、学業に励んでおります。

昨年は、緊迫する世界情勢の中、国内でも地震や台風などの大きな災害に見舞われました。また、広がる地域格差、少子高齢化、外交問題など様々な問題が山積みとなっております。目前に迫った東京オリンピック・パラリンピックの影響により、生活のAI化がさらに進むなど、私たちの生きる社会は絶え間なく変化していきます。その中には多くの問題が発生するでしょうが、その解決の担い手としても、私たちが頑張っていかなければならないと思います。そのためにも、物事に真摯に取り組み、それでも夢や目標を失うことなく、そしてよりよい社会になるよう、精一杯努力していく所存です。

結びに、まだまだ未熟な私たちですが、これまで支えて下さった多くの方々に感謝の気持ちを持ち続け、日高市を愛し、これからの人生を歩んで行くことをここに誓い、新成人代表の言葉とさせていただきます。

平成31年1月13日

新成人代表 鹿島紗綾